

生きづらさ

立ち直りを支援する方法



#立ち直り
応援基金

#社明73

#生きづらさを生きていく

S
N
S
を
フ
ォ

法務
ーやイ
立ち直
な発信
面で公
ており
ックし

立ち直 担い手

立ち直りを
一番近くで見守

保護司

保護司は、犯
した人の立ち直
支えるポラン
地域の事情など
し、保護観察官
保護観察を受け
面接を通じた助
行い、受刑者等
する環境への働
も行っています
4万7000人

に寄り添い
は様々です



理解を深め 見守る

自らの過去と向き合い、
罪を償って立ち直ろうとし
ている人たちへのご理解を、
よろしく願います。

寄付で 応援する

立ち直り応援基金は、
一口1000円からイン
ターネットで誰でも気軽に寄
付をすることができます。組
みです。寄付金は、全国の

立ち直れる。その思いをツナグ。

立ち直り応援基金

イベントに参加する

全国では、7月の強調月
間を中心に、「社会を明る
くする運動」の様々なイベ
ントや広報活動、シンポジ
ウムが行われています。お



社会的
孤立

いじめ

虐待

家庭崩壊

依存

障害

貧困

一人ではどうにもならない「生きづらさ」があります。
犯罪や非行の背景にも、「生きづらさ」があることは少なくありません。
自らの過去と向き合い、生きづらさを抱えながらも、生きていく人たち。
その姿を受け入れ、生きづらさを包摂するコミュニティが必要です。
立ち直ろうとする人のそばにいて、寄り添うこと。
立ち直りを支援する人たちの活動を、応援すること。
立ち直りを応援するメッセージをフォロー・拡散すること。
そして、立ち直ろうとする人の「生きづらさ」に思いを寄せること。
一人ひとりにできることが重なりあえば、
大きなコミュニティがつくられていきます。
立ち直ろうとする人が向かうその先に、
もっともっと大きな、「生きづらさを包みこむコミュニティ」を。
「社会を明るくする運動」が目指す、
立ち直り支援の輪に、ぜひ、参加してください。

一人になるのが嫌だった。
孤立するのが怖かった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、
歪な繋がりにすがりついた。

この街に帰ってきて一年。
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが
自立じゃない。
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。



#生きづらさを
生きていく。

社会を明るくする運動のはじまり



社会を明るくする運動
シンボルマーク

戦後間もない昭和24年頃、貧困からくる子供達の非行が、大きな社会問題となっていました。そのとき、東京・銀座商店街の延べ2,000人もの人々が立ち上がり、「不幸な子供達を救ひませう」の立看板を掲げ、真夏の炎天下、犯罪予防と少年保護を訴える「銀座フェア」を開催しました。この市民の活動がきっかけとなって、昭和26年から、法務省主唱の「社会を明るくする運動」が始まりました。

第73回 社会を明るくする運動 金沢市推進委員会事務局

金沢保護区保護司会 金沢市高岡町7-25松ヶ枝福祉館 4階 TEL 076-223-3062 FAX 076-223-3063